

第42回日本美容皮膚科学会 総会・学術大会



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

美の本質を求める

スイーツセミナー7

ロジックで考え直す男性型脱毛症の治療： 標準治療と赤色LEDを含めて

日時 2024年8月31日(土) 15:20～16:20

会場 名古屋国際会議場 第9会場（会議室222+223）

座長

浜松医科大学皮膚科学講座 准教授・
病院教授

伊藤 泰介 先生

演者

大阪大学皮膚科学講座 招聘教授
心齋橋いぬい皮フ科 院長

乾 重樹 先生



演 者

大阪大学皮膚科学講座 招聘教授
心齋橋いぬい皮フ科 院長

乾 重樹 先生

▶ ロジックで考え直す男性型脱毛症の治療： 標準治療と赤色LEDを含めて

男性型脱毛症(AGA)は毛周期のうち成長期の短縮により毛径が十分大きくなり毛周期を回転することがその病態で、「生えなくなる」から「発毛」すればいい、ということではない。そこで今回はAGAの病態の正確な理解に基づいたロジックで治療を考え直す機会を共有したい。

AGAの治療には、アンドロゲンに関わる機序と成長期維持に関わる機序の2つがある。前者が「発毛」、後者が「抜け毛の抑制」と言われるものの、正確な表現ではなく、両者とも成長期を長くすることでその効果を示す。前者はテストステロンをより強い活性をもつジヒドロテストステロンへ変換する5 α -還元酵素を阻害するフィナステリドやデュタステリド内服薬であり、後者はVEGFなど成長期維持に関わる因子の産生を増強するミノキシジル外用薬や赤色LED照射である。

それらの治療の基礎と臨床のデータをロジックに考え直すことで適切な治療選択を行う考え方を整理したい。

略 歴 等

【略歴】

1991年 大阪大学医学部医学科卒業、医師免許取得
1991年 大阪大学医学部皮膚科学教室入局
1992年 大阪労災病院皮膚科医員
1993年 大阪大学大学院医学研究科入学
(皮膚科学・生化学専攻)
1996-8年 米国留学 (ウイスコンシン大学、ロチェスター大学)
この間、1997年 大阪大学大学院博士課程修了、学位取得
1999年 大阪大学医学部皮膚科学教室医員
2000年 大阪大学医学部皮膚科学教室助手
2006年- 大阪大学医学部皮膚・毛髪再生医学寄附講座
准教授 (附属病院皮膚科兼任)
2016年- 心齋橋いぬい皮フ科院長
2016-8年 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学講座
招聘教授
2018年- 大阪大学医学部皮膚・毛髪再生医学寄附講座
特任教授
2024年- 大阪大学皮膚科学講座招聘教授

【専門医資格】

日本皮膚科学会専門医、日本アレルギー学会専門医・指導医、
日本抗加齢医学会専門医、日本化粧品医療学会専門医

【学会役職など】

日本臨床毛髪学会理事長、日本毛髪科学協会副理事長

(資格審査委員会委員長、中長期事業計画委員会委員)、
日本美容皮膚科学会理事 (倫理委員会委員長、機関誌広告に
関する委員会委員長、学術教育委員会委員、機関誌編集委員会
委員)、毛髪科学研究会世話人、日本研究皮膚科学会評議員、
日本抗加齢医学会評議員 (臨床研究促進委員会委員)、日本
皮膚免疫アレルギー学会評議員 (広報委員会委員)、日本褥瘡
学会評議員、日本化粧品療法学会評議員

【受賞】

第3回国際毛髪科学学会, Oral Presentation Award,2001,
第27回日本接触皮膚炎学会学術大会 ポスター賞2002,
JSID Shiseido Fellowship Award,2003.
第4回ガルデルマ賞, 2003.第24回日本美容皮膚科学会
アイデアアンドイノベーション賞,2006,
第107回日本皮膚科学会総会 ポスター賞,2008,
第8回日本抗加齢医学会総会 奨励賞,2008,
第72回日本皮膚科学会東部支部総会 会長賞,2008,
平成22年度日本皮膚科学会雑誌論文賞
(The Journal of Dermatology),2010,
F1000Prime AFM Travel Grant 2013, JD Award, Most
Downloaded Articles in 2013,
第14回日本抗加齢医学会総会プレナリー賞,2014,
第33回日本美容皮膚科学会優秀演題賞,2015.